



2学期も子供たちの成長を願うチーム



先日お伝えしましたように、8/24に、2学期の始業式・プール納め式を行いました。学校で行うさまざまな「式」には、「児童代表の言葉」があります。2学期のはじめの式で担当した代表児童の2名も、大変上手に自分の思いを発表することができました。職員室からの放送での発表となりましたが、よい緊張感の中で、教室にいる1～6年生みんなに、しっかりとメッセージを伝えていました。

「みんなを代表して何かを行う」という経験はとても貴重な経験の一つです。また、「代表の児童を応援したり支えたりする」という経験も同じくとても貴重な経験となります。

今年のご承知のとおり、感染症対策のため残念ながら中止となる行事もあります。行事だけではなく、学習や生活様式も例年と異なります。限られた中で、規模や方法は違いますが、今後も、感染症対策の中でできる限りの工夫をし、短い時間であっても、児童の活躍の場を設けていきたいと思ひます。その思ひは、前号の「運動会にむけた準備」にも反映させております。2学期、コロナ禍であっても、みんなで成長できるかけがえのない学期としていきたいと思ひます。ご家族の皆さんのご理解とご協力に感謝申し上げます。「チーム」としてよろしくお願ひいたします。



先生方の研修の様子



8/21、8月の職員研修を行いました。この日は、パソコン室で「ライズeライブラリアドバンス」の活用についての研修を行いました。

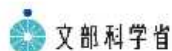
「ライズeライブラリアドバンス」とは、小学校1年から中学校3年までの57000問以上の教材を、どの学年も自由に学習できるものです。北小では2学期9月に、パソコン室のパソコンを使って、全校児童を対象に、各クラスで紹介していきます。その前に先生方で活用の仕方について学びました。児童への紹介は、専門であるICTアドバイザーの新・先生が来校予定の9/2と9/17に行います。担任とともに指導して参ります。

「ライズeライブラリアドバンス」は、学校での利用以外に、ご家庭でも、パソコン・タブレット・スマートフォンから無料で利用できるサービス（通信費は各ご家庭のご負担となります）です。詳細のご案内は、児童への紹介が終了する9/17以降に、全児童一人一人にむけたログインIDと合わせて、各家庭へお知らせする予定です。ご家庭でも端末やインターネット接続環境等でご利用が可能でしたら家庭学習等にご活用ください。

利用につきましては、自主勉強などの自由な利用であり、強制するものではありません。また、ご家庭の通信環境の整備や通信機器の購入を求めたりするものではありません。今後、ホームページの閲覧の確認と同様に、利用が可能かどうかを確認させていただくこともあるかと思ひます。そのときは、後日別途お知らせいたします。



◎文部科学大臣よりメッセージが届きました。「児童の皆さんへ」のメッセージは学級でお話をして先週配付しました。「保護者や地域の皆さんへ」のメッセージも先週配付いたしました。とても大切な内容ですので、学校便りでも再掲載いたします。



保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができておりますのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多いと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気が広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生き抜く児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思っております。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一

■新型コロナウイルスの 物質別最大残存期間■ ～目安となる参考例です～

- ・エアロゾル 3時間
- ・紙・ティッシュ 3時間
- ・銅 4時間
- ・段ボール 1日間
- ・木材 2日間
- ・衣類 2日間
- ・ステンレス 2～3日間
- ・プラスチック 3日間
- ・ガラス 4日間
- ・紙幣 4日間
- ・サージカルマスク 7日間

熱中症対策と北小っ子のよいところ No.36

連日暑い日が続いています。北小では、熱中症対策の一つとして、毎日養護教諭が中心となり、保健室前でWBGT測定器による熱中症指数を測定しています。熱中症アラートも参考にしています。警戒度に応じて、校庭での運動中止の日は、放送で全校に呼びかけています。

職員室には、その日の熱中症指数を、更新しながら表示しています。屋外で運動等を行う前に先生方が確認します。校庭の数値が高いときは、体育館の熱中症指数を測定します。運動可能であれば、感染症対策として換気等を十分行い、体育館での授業を行います。

8/25は、25分休みには校庭で遊ぶことができましたが、13時過ぎには気温等が上昇し、熱中症指数が31を超え、外遊びは中止となりました。子供たちは室内で休み時間を過ごします。外遊びのできた日は、昨年設置した「集中玄関前のミスト」を気持ちよく利用している北小っ子です。右上の写真は、竹馬遊びを終えてミストの下で涼んでいる子供たちです。「気持ちいいです」と笑顔で話してくれました。こまめな水分補給も行っています。

北小では、感染症対策とともに熱中症対策にも全校で取り組んでいます。登下校は、日差しを防ぐための帽子や傘・日傘の活用にむけ、引き続き声かけをお願いします。

6年生は、熱中症対策として、暑さが激しい日は会議室と6年教室を十分換気し併用していきます。

